

平成27年度  
ひらめき☆ときめきサイエンス～ようこそ大学の研究室へ～KAKENHI  
(研究成果の社会還元・普及事業)  
実施報告書

HT27132 自作ソーラーカーにて遊ぼう！楽しさをWeb会議にて海外の学生へ話そう！



開催日：平成27年8月1日(土)  
実施機関：サレジオ工業高等専門学校  
(実施場所) (東京都町田市小山ヶ丘 4-6-8)  
実施代表者：伊藤光雅  
(所属・職名) (一般教育科・准教授)  
受講生：中学生 20名  
関連URL：<https://www.facebook.com/KosenIET/videoes/vb.1437508123173936/1622545961336817/?type=2&theater>

【実施内容】

● 受講生に分かりやすく研究成果を伝えるために、また受講生に自ら活発な活動をさせるためにプログラムを留意工夫した点

- 1) 参加生徒に年齢的に近い学生によりソーラーカー制作の解説書を作らせて平易な言葉により説明を実施した。
- 2) 本年度モンゴルで実施予定の出前理科教室と同内容の自作ソーラーカーを実施。専用コースで速く走らせるため生徒に工夫させながら制作にあたらせた。
- 3) 海外との Web 会議システムを実際に体験してもらうためモンゴル高専とサレジオ高専とを実際に Web 回線にて結び、意見の交換をした。またソーラーカー競技の入賞者からモンゴル高専の学生へ速く走らせるための工夫点について説明した。

● 当日スケジュール

- 8:30～9:00 受付(事務受付前)
- 9:00～9:30 開校式(挨拶、諸注意など)
- 9:30～9:45 集合写真撮影
- 9:45～10:30 本日のプログラム、科研費の説明
- 10:30～12:00 講義(遠隔授業について 講師:伊藤光雅) 実習(ソーラーカー組立 指導:学生 TA)
- 12:00～13:00 昼食・休憩
- 13:00～14:00 競技大会
- 14:00～14:30 モンゴル高専との Web 会議学生セッション 14:30～15:00 修了式(アンケート記入、未来博士号授与、挨拶)
- 15:00 終了、解散

● 実施の様子



教員による本プログラムの概要説明



学生 TA による制作手順の説明



自作ソーラーカー制作



自作ソーラーカー競技



モンゴル高専との Web 会議



競技入賞者からモンゴルの学生へ報告



未来博士号の授与



参加者全員にて記念撮影

●事務局との協力体制

- 1) 総務課・科研費担当者が、委託費の管理と支出報告書の確認を実施。
- 2) 科研費担当者が、振興会への連絡調整と、提出書類の確認・修正等を実施。

●広報活動

- 1) 入試広報室が、通常の募集活動の一環として、中学校訪問(全教職員)の際、本事業についてのPRを実施。
- 2) 近隣の小学校へは、入試広報室が訪問し、本事業についてのPRを実施。
- 3) 本校のホームページへの掲載、学校正門の掲示板(地域の方々へのお知らせ用)へ掲示した。

●安全配慮

- 1) 実習の安全確保のため、学生 TA(7名)を配置した。
- 2) 受講生と実施協力者(専攻科生、本科生)を短期のレクリエーション保険に加入した。

●今後の発展性、課題

- 1) 参加生徒が自作ソーラーキットを専用コースで速く走らせるため工夫(重心位置や、モーターとプーリーの距離関係)をこらして作り上げたことから「ものづくり」の楽しさを体験させることが出来た。モンゴル高専との Web 会議では参加生とのみならず保護者からもモンゴルの学生へ質問するなど興味を抱いて頂いた。一方モンゴル側では夏期休暇だったこともあり参加学生が 10 名程度で実施時期を再検討する必要がある。また今後は Web 会議を活用してモンゴル側から「ものづくり」の制作指導をするなどスパイラルアップさせたプログラムに取り組む。

●本プログラムの情報発信

モンゴル高専 Facebook によりモンゴル側で撮影した動画を公開して本プログラムの情報を発信した。

【実施分担者】

真島裕樹 一般教育科 講師

【実施協力者】       7 名

【事務担当者】

柴田宏子 入試広報室長

里川誠一郎 総務会計課 係長